

# 競 技 上 の 注 意

1. 競技開始 第1日 8時00分 第2日 8時00分

2. 競技規則・方法

- (1) 本大会は、2020年度日本陸上競技連盟規則により行う。
- (2) 学校対校とする。得点は1位 6点・2位 5点・以下……6位 1点とする。
- (3) 気温が35度を超える場合は、長距離種目を中止する。※長距離競技の実施については前日の夕方に判断する。

3. 選手招集について

- (1) 選手の招集所は、メインスタンド北側(100mスタート横)に設置する。
- (2) 招集完了時刻は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

【トラック競技:予選】 ※出場者数により組数及び招集時間は変更になります。

種 目	男 子			女 子		
	組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了
100m	1 - 7	35 分前	20 分前	1 - 5	35 分前	20 分前
	8 - 11	10 分前	5 分前	6 - 7	15 分前	0 分前
200m	1 - 5	35 分前	20 分前	1 - 3	35 分前	20 分前
	6 - 9	15 分前	0 分前	4 - 5	20 分前	5 分前
400m	1 - 3	35 分前	20 分前	1 - 3	35 分前	20 分前
	4 - 6	15 分前	0 分前	4	20 分前	5 分前
800m	1 - 4	35 分前	20 分前	1 - 3	35 分前	20 分前
	5 - 7	20 分前	5 分前	4 - 5	25 分前	10 分前
1500m	1 - 2	35 分前	20 分前	1 - 2	35 分前	20 分前
	3 - 4	15 分前	0 分前	3	20 分前	5 分前
4×100mR	1 - 2	35 分前	20 分前	1 - 2	35 分前	20 分前
	3	25 分前	10 分前			
4×400mR	1 - 2	35 分前	20 分前	1 - 2	35 分前	20 分前
	3	25 分前	10 分前			

上記に記載のない種目については、招集時刻は競技開始35分前から始めて招集終了時刻は20分前とする。

【トラック競技:準決勝・決勝】

トラック競技準決勝・決勝の招集時刻は、すべて競技開始35分前から始めて招集完了時刻は20分前とする。

【フィールド競技:決勝】

フィールド競技決勝の招集時刻は、すべて競技開始60分前から始めて招集完了時刻は45分前とする。  
ただし、棒高跳は、競技開始75分前から始めて招集完了時刻は60分前とする。

(3) 招集の手順

- ア) 競技者は、招集開始時刻から招集所で最終確認を受けたあと、競技者係の誘導に従うこと。  
トラック競技の出場者はその際、腰ナンバーカードを受け取り右腰やや後方につけること。
- イ) 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目同時に兼ねて出場する選手はあらかじめ、その旨を最初の種目の招集時に競技者係に申し出ること。
- ウ) 招集時刻に遅れたものは、棄権するものとして処理する。
- エ) リレーのオーダー用紙は、競技者係より受け取り、予選・決勝とも提出すること。  
(提出はその種目1組目の招集完了60分前までに行うこと)  
なお、招集時間内に必ず招集も受けること。  
リレーの選手変更は2020年日本陸上競技連盟規則による。

#### 4. 跳躍・投てき競技について

- (1) バーの上げ方については下記のとおりとする。ただし、天候等により変更することがある。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男・走高跳	1.70	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	以降3cmとする
	1.50								
女・走高跳	1.40	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.53	以降3cmとする
	1.20								
男・棒高跳	3.50	2.70	2.80	2.90	3.00	3.10	3.20	3.30	以降10cmとする
	2.60								
女・棒高跳	2.60	1.80	1.90	2.00	2.10	2.20	2.30	2.40	以降10cmとする
	1.70								

※練習は2段階の高さで実施する。

※順位決定のバーの上げ下げは走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

#### 5. 練習会場について

- (1) 補助競技場のトラックレーンは次のように割り振る。
- ・ 1～2レーン 中長距離種目
  - ・ 3～6レーン 短距離種目・リレー種目
  - ・ 7～8レーン ハードル種目
- (2) 補助競技場のフィールドは投擲競技が実施されるため、ウォーミングアップをおこなう者は立ち入らないこと。
- (3) ハードル種目の練習は7～8レーンでおこなうことができる。使用したハードルは放置せず、必ず台車に戻すこと。
- (4) 補助競技場内を移動するときは周囲に目を配り、ウォーミングアップをしている選手の妨害をしないこと。

#### 6. その他

- (1) トラック競技の決勝進出者の決定については、タイムの上位者から選出する。同タイムが出た場合は写真を拡大し「着差あり」まで判定する。それでも判定できない場合は同着とし、本人または代理人により抽選する。
- (2) アスリートビブスは胸背部に必ず着用すること。  
ただし、走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳においては、胸背部いずれかでもよい。
- (3) 使用する全天候用スパイクシューズのピンの長さは9mm以下とする。  
ただし、走高跳・やり投については12mm以下とする。
- (4) 棒高跳出場選手は、ポールを持参すること。
- (5) 用器具の検査時間は、各種目とも招集開始60分前より始めて30分前で締切る。
- (6) 本競技場での練習時間は、トラック・フィールドとも競技開始20分前までとする。
- (7) 各種目3位まで表彰し賞状とメダルを授与する。総合成績は男女別に3位まで表彰し賞状を授与する。総合優勝の男女各校に優勝トロフィーを授与する。トラック及びフィールド総合成績も男女別に3位まで表彰し賞状を授与する。

写真撮影については、学校関係者のみとし、許可を受けること。

許可申請書を作成し、各校顧問が大会当日までに専門委員長へ提出すること。

許可された者のみ、撮影許可区域内での撮影ができるものとする。

なお、報道関係者については、報道係で受付を行い、撮影許可を得ること。